

第228回 番組審議会

1. 日 時 平成26年1月14日(火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 11名  
出席委員数 9名(欠席委員数 2名)

○ 出席委員(敬称略)

中村 慶久(委員長)  
竹中 陽一(副委員長)  
—以下50音順—  
加藤 裕一  
木戸場 美代子  
久慈 浩介  
斎藤 純  
菅原 正二  
原 圭介  
八木橋 伸之

○ 会社側出席者(6名)

佐藤 滋樹(代表取締役社長)  
小原 忍(専務取締役)  
藤原 銀司(取締役営業局長)  
工藤 浩(取締役総務局長)  
君沢 温(岩手めんこいテレビ編成部部長)  
鎌田 淑子(めんこいエンタープライズ制作部)

○ 事務局 佐々木 久仁子

#### 4. 議題 『おいしい景色 故郷いわてを味の記憶で辿る』

平成25年12月30日(月)16:15~16:45 放送

#### 5. 議事概要

今回は、12月30日(月)の午後4時15分に放送された『おいしい景色 故郷いわてを味の記憶で辿る』について審議しました。議事の概要は以下の通りです。

##### ●岩手めんこいテレビ君沢編成部長からの説明

・年末の休みに入った夕方、気を張らずに見てもらいたいと思って制作した番組。テーマは「岩手の人とそのソールフード」。その人をはぐくんだ岩手の風土と食べ物の距離感に共感や新たな発見が見つければいいと思って制作した。

・人選は「今」を体現する人と、あまり知られていない方も紹介したいと思って決定した。映画監督の大友啓史さんは、日本の今、岩手の今を切り取っていただけの方だと思った。ブックデザイナーの名久井直子さんは、あまり知られていないながらも大変興味深い方だったのでお願いし、いろいろな分野の方を紹介したいと思いサッカー選手の鹿糠幸司さん、作家の木村紅美さんの出演が実現した。

##### ●めんこいエンタープライズ鎌田ディレクターからの説明

・この番組を制作する上で一番大切にしたことは「1枚の映像」「1つの音」を丁寧に作り上げること。テロップが無くても分かる力のある映像と音が今回の番組の要だった。

・料理を「まっすぐ上から撮る」ことにこだわり、食べ物の温度、美味しい状態を撮るため通常の倍以上の時間を費やした。あきらめないというカメラマンやスタッフの気持ち、お店の協力があつたから撮れた映像と音だった。結果、満足のいく作品が出来上がった。

●出席した委員からの意見

- ・冒頭のイラスト、うるさくない音楽、題字、自己主張が過ぎないテイストから洗練された印象があり良質な番組だった。
- ・画面がとてもきれいで、音楽も効果音も控えめながらセンスが良くとても良かった。
- ・じゃじゃ麺を混ぜるときの音がちょっとしつこいと思った。もう少しさらりとやった方がよかった。
- ・出演者の年齢構成や人数を検討した方がよかったのではないか。人数を減らして掘り下げる、50代、60代など幅広い世代の「思い出の味」を紹介することも検討してはどうか。
- ・岩手県出身で活躍している若い人を紹介することは大事なことです。これからもぜひ継続してほしい。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置  
特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成26年1月13日（水）産経新聞 東北版

※平成26年1月25日（土）朝4時から4時15分まで「めんこいテレビ 批評」内で放送

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項  
特になし